

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	保全緑地用地購入事業	所管	道路公園部 みどり公園課
			TEL 2998-9196

事業の目的 (何の為に 行うか)	貴重な緑地を保全し、みどりの景観及び自然環境を次世代に継承するため。
------------------------	------------------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	条例等で保全緑地に指定した買取要望のある民有緑地および国有地	対象とした数	0	ha
		実際に 利用した数	0	ha

活動の内容	(何を したか)	緑の基本計画において、保全の対象とすべき重要な緑地が地権者の相続等によって消失・改変の恐れがある場合に、最終的な保全手段として土地を買い取り公有地化する。また、物納国有地については、関東財務局に対し競売保留を求めていくとともに、重要性および緊急性を考慮し必要に応じて取得する。購入にあたっては、国庫・県費補助金及び緑の基金等の導入を図り実施する。							
活動実績	項目名	購入緑地面積	0.3	項目名	購入箇所	2	項目名	寄付緑地面積	0
		単位	ha			単位	箇所	単位	ha

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	18,609	12,828	69,795	205.9

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	購入緑地面積	取得面積(市費+県補助)/取得計画面積	0.4	0.4	100.0
			単位	単位	単位
			ha	ha	%

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []							
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止							
	予算	現状どおり * 増額 減額 終了							

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了								
	総合 評価	* 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了							
	予算	現状どおり * 増額 減額 終了							

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	070500	TEL	2998-9196
事業コード	070507 保全緑地用地購入事業					
開始年度 昭和 60 年度 ー 終了年度 平成 年度						

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市緑の基本計画			所沢市緑化推進条例				
	関連・類似事業	身近な緑公有地化事業(埼玉県)							
	総合計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	2節 公園・緑地	中柱	3 緑地の保全・再生・活用	小柱	(1) 自然豊かな緑地の保全
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 18 位							

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	貴重な緑地を保全し、みどりの景観及び自然環境を次世代に継承するため。												
	対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方			利用数の考え方									
	対象数	単位	平成 18 年度	0	ha	平成 19 年度	0.4	ha	平成 18 年度	0	ha	平成 19 年度	0.4	ha
	事業の具体的な内容及び実施方法													
	緑の基本計画において、保全の対象とすべき重要な緑地が地権者の相続等によって消失・変更の恐れがある場合に、最終的な保全手段として土地を買い取り公有地化する。また、物納国有地については、関東財務局に対し競売保留を求めていくとともに、重要性および緊急性を考慮し必要に応じて取得する。購入にあたっては、国庫・県費補助金及び緑の基金等の導入を図り実施する。													

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	≪ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input checked="" type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())	
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	

平成19年度中に改善した点
上山口の緑地取得に際し、県の「身近な公有地化事業」を積極的に活用し、取得面積の半分、0.13haは県事業として公有地化を実施した。

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		0	18,609	91,825
	決算(見込み含む)		0	12,828	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費		0.19 人 1,748	0.65 人 6,106	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費		54,959	50,861	
	事業費合計		56,707	69,795	
	財源内訳	一般財源	56,707	69,795	91,825
		国・県支出金			
		受益者負担金			

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	購入緑地面積	ha	0	0.3	0.57	
		購入箇所	箇所	0	2	1	
		寄付緑地面積	ha	0	0	0	
	成果分析	購入緑地面積	取得面積(市費+県補助)/取得計画面積	ha	目標値	0	0.4
		%	達成率	****	100.0	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	用地取得後、公有地化に伴う管理経費の増加。				

⑦一次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	下新井桜木神社周辺緑地の保全取得	取得事務を完了し、保全緑地として管理	平成21年3月
		次年度以降の取得対象地	取得検討対象となる緑地の洗い出し	6月中

⑦一次評価	平成21年度における事業の方向性	総合評価	
		<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())	
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)	

⑦一次評価	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
	評価理由	狭山丘陵や三富新田をはじめとする身近な緑の保全は、市長マニフェストでも重要な施策として位置づけており、用地購入事業は重要な緑を保全する施策として、効果的効率的に実施していく必要がある。

評価日	平成20年5月23日	記入者職氏名	道路公園部みどり公園課長 並木 隆
-----	------------	--------	-------------------

⑧二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性			
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了			
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			

⑧二次評価	事前評価	部内優先順位… 5 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input checked="" type="checkbox"/> A: 優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

⑧二次評価	評価理由	市長の推進する重要な施策でもあり、喪失する緑地を最終的に保全するための方策でもあるため、本市の魅力資源を形成していくことに鑑みて、「拡充」「増額」の評価を行った。						
	評価日	9月1日						

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	212
	施策の体系	2-1緑地の保全	施策の方向	2-1-2雑木林保全の推進
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			